

ブラックジャック攻略法

BlackJack

遊び方&攻略法

【著作権について】

このマニュアルは、2019年8月時点での「オンラインカジノ」「カジノ」での「ブラックジャック」の遊び方及び攻略法を書いています。また、当サイトの管理人である筆者が調べて作成したマニュアルです。

従いましてこのマニュアルは、著作権法で保護されている著作物です。このマニュアルの著作権は「オンラインカジノ講座.com」に属しますので、このマニュアルのいかなる部分においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このマニュアルに書かれた情報は、2019年8月時点での筆者の見解ですので、筆者はこのマニュアルの内容について、どの他の許可も得ず、いつでも訂正および編集することができます。

このマニュアルの作成には万全を期しておりますが、**万一誤り、不正確な情報等により、この攻略法を実践して、読者の方に不利益を被ることがありましても、筆者は一切の責任を負わないことをご了承願います。**

【推奨環境】

このレポートに記載されている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader を下記のページよりダウンロードしてください。

<https://get.adobe.com/jp/reader/>

もくじ

| | |
|----------------------------------------|----|
| はじめに | 3 |
| ブラックジャックの遊び方とルール | 4 |
| ブラックジャックの専門用語の解説 | 8 |
| カードカウンティングによるブラックジャック攻略法 | 9 |
| カードカウンティングの解説 | 11 |
| カードカウンティングの実際 | 13 |
| オンラインカジノの結論 | 16 |
| 実際のカジノで行う場合の注意点 | 17 |
| カードカウンティングの実際 | 18 |
| オンラインカジノでカウンティングは可能なのか? | 19 |
| ライブカジノのほうがカウンティングがやりやすいのはなぜ? | 20 |
| おすすめライブカジノはここだ! | 20 |

はじめに

当講座「オンラインカジノ基礎講座」のブラックジャック「遊び方&攻略法」マニュアルをダウンロードいただきまして、誠にありがとうございます。

このマニュアルでは、普通にトランプゲームとしても日本人に人気のあるブラックジャックのカジノおよびオンラインカジノ ゲームにおける遊び方と「カードカウンティング」というブラックジャックの攻略法について書いています。

完全日本語対応のオンラインカジノサイトが日本に本格的に参入してきてまだ間もないですが、急速にその人気を獲得しつつあります。

そのオンラインカジノのゲーミングといわれるゲームの種類も非常に多くありますが、ブラックジャックは、日本人の小さいころからよく遊んだ「21」に似ているゲームであり、オンラインカジノでも人気のゲームの一つとなっている。

そういう意味でブラックジャックは日本人にも馴染みが深いゲームなのですがその「21」と異なる点も多くあります。

このマニュアルでは、ブラックジャックの遊び方について説明していますのでよく理解していただいて攻略法に進んでいただければと思います。

ブラックジャックは相手となる「ディーラー」に配られたカードの数字で決まってしまうゲームだから運のゲームだと思われがちですが、じつはブラックジャックにおける勝利をプレイヤー自身によってある程度はゲームコントロールが可能なゲームなのです。

巷にはいろいろな攻略法が出回っていますが、「カードカウンティング」は、その中でも非常に有名なブラックジャック攻略法なのです。

このマニュアルではその「カードカウンティング」の攻略法について説明していきます。

ブラックジャックの遊び方とルール

なんとなくブラックジャックの遊び方はわかっていると思われる人も今一度ブラックジャックの遊び方とルールを一通りおさらいしておきましょう。

初めての方は、少し難しい用語も出てきますが説明していますのでゆっくり理解していきましょう。

ブラックジャックとはトランプを使って遊ぶゲームです。

基本的なルールとして、ディーラーが、ディーラーとプレイヤーにトランプを配り、**配られたカードの合計が 21 に近い数字の方が勝ち**となります。

ブラックジャックの遊び方

<カードの配り方>

初めに、プレイヤーは**ベット**（賭け）を行います。

ディーラーは

① **2枚表向きにして各プレイヤーへ配ります。**

※このとき、どのプレイヤーが、どのカードを持っているのかは、ディーラーからは完全に見えています。

次に

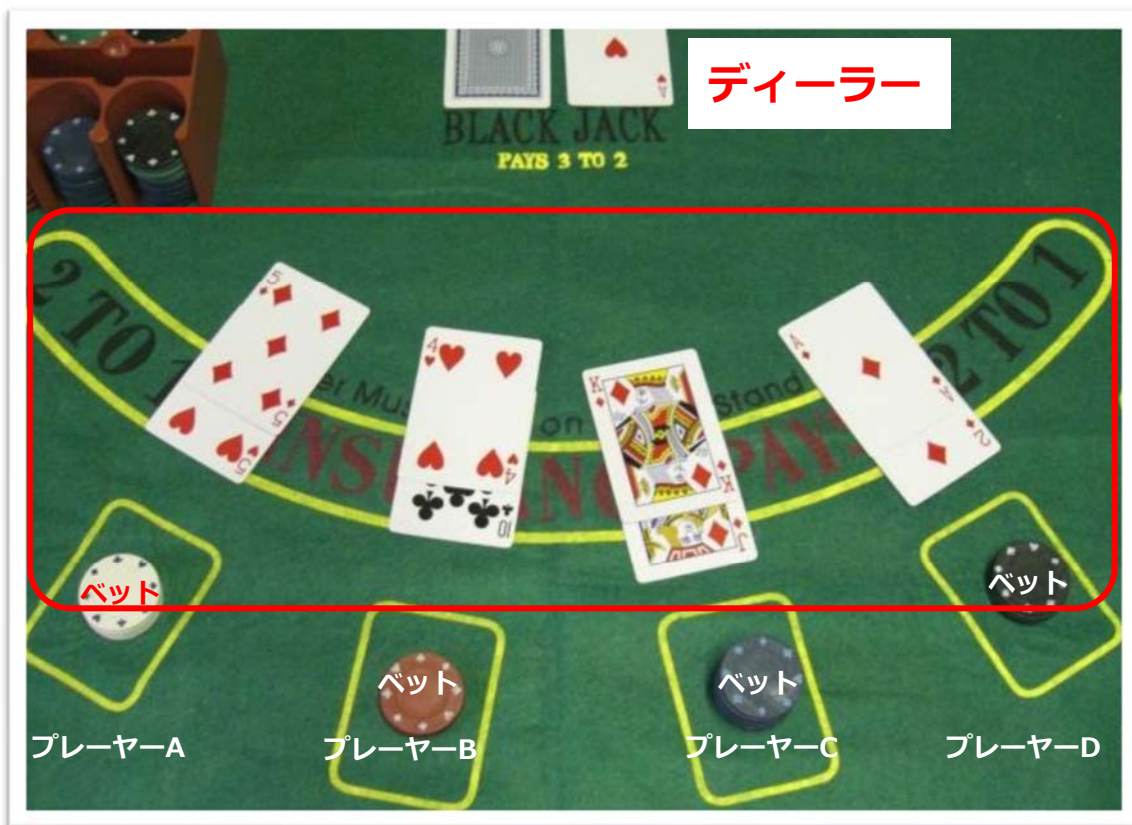
② ディーラーは自分自身に1枚カードを表向きにしてカード（**アップカード**）を配ります。そして、もう1枚を裏向きの伏せたカード（**ホールドカード**）を配ります。

※この時点で、ディーラーは**1枚を表向き**、**1枚を裏向き**で持っている状態です。

アップカード・・・ディーラーが持っている表向きのカード、
ホールドカード・・・ディーラーが持っている裏向きのカード

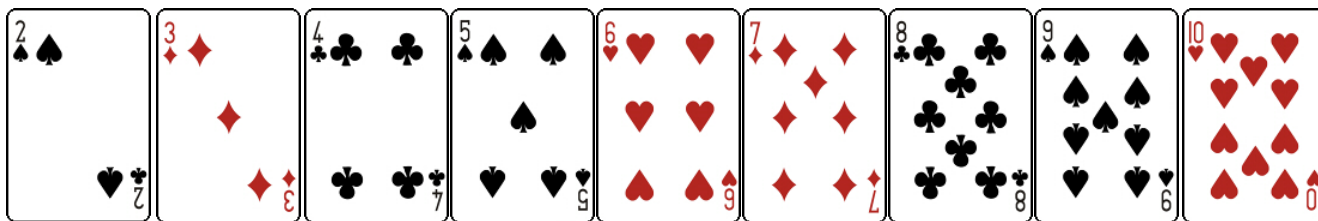
<初めにカードが配られた状態>

この場合は、4人のプレイヤーに最初に配り終わったところ。



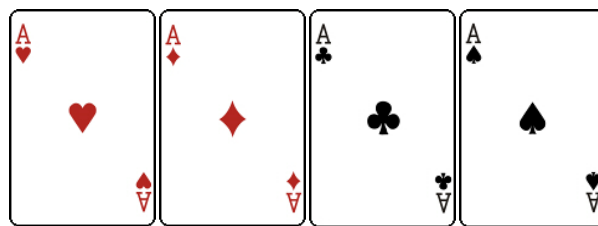
<配られたカードの数の数えかた>

- 2～10までの数字は各数字のまま、カードが**3**ならそのまま**3**と数えます。



♥、♦、♣、♠ の2～10まではそのままの数字として数える。

- J～Kの絵札は**全て10と数えます**。 ● Aは「1」あるいは「11」と数える。

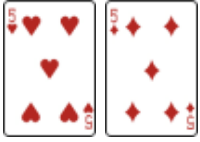


「1」あるいは「11」と都合のいいほうをとる。

プレイヤーは

その配られたカードを見て、**より 21 へ近づけていきます。**

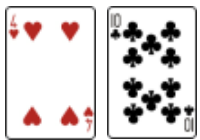
例えば、画像のように最初に配られたカードの数字から A~D は



$$A \dots 5+5=10$$

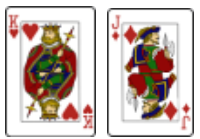
最初の 2 枚カードがペアの時に、その 2 枚のカードを分割し、独立したハンドとすることができる。これを **SPRIT** という。ここでは **◆の 5** と **♥の 5** の 2 つに独立したハンドとした。

※ただし同額のチップを賭ける必要がある。



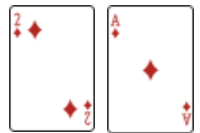
$$B \dots 4+10=14$$

何とか 21 に近づけようと HIT (追加のカードを配ってもらう)



$$C \dots K+J=20$$

HIT しても A が来ない限り 21 を超えてしまい BURST (バースト) の恐れがあるのでここで **スタンド (stand)** \dots これ以上配布してもらわないでこのカードで勝負すること。



$$D \dots A+2=3 \text{ あるいは } 13$$

3 あるいは 13 でもまだまだ 21 に届かないので HIT するも K(10) がきてしまった。

よって、13 と計算してもう一度 HIT する。

A の場合は、手持ちのカードと併せて 21 を超えない場合は、11 と数えますが、もし、合わせて 21 を超える場合は、1 としてカウントします。

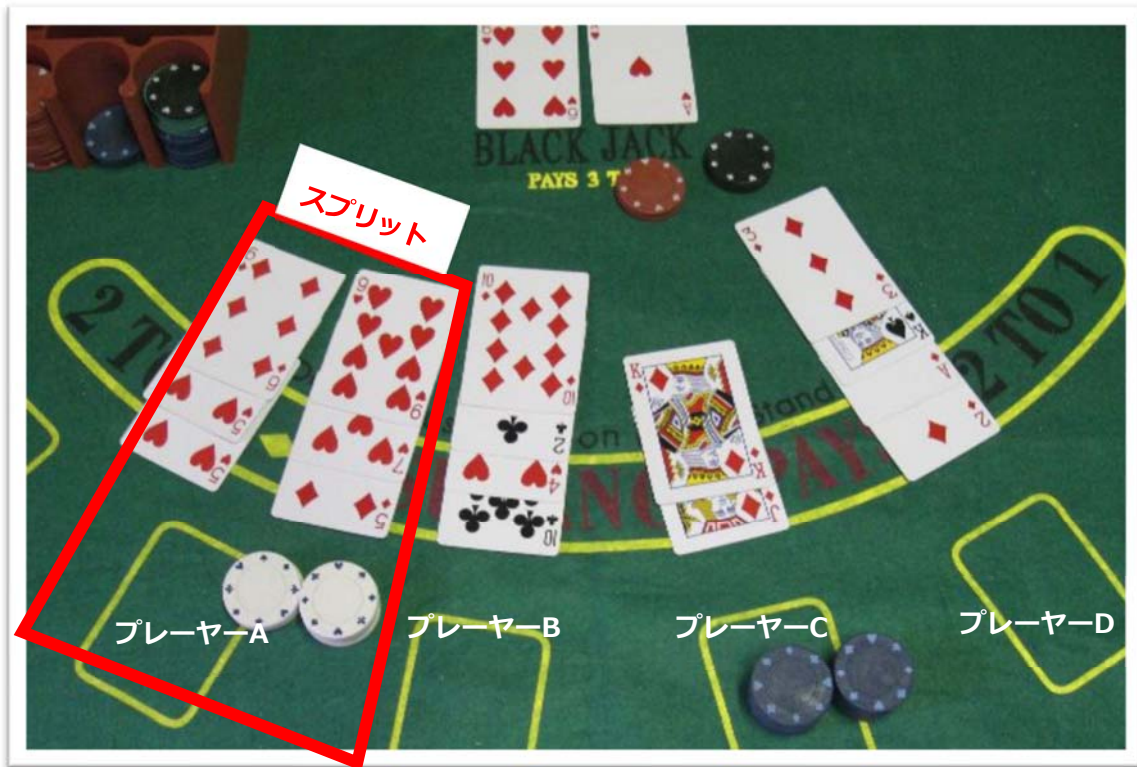
そして、**A+10** あるいは **絵札** を揃えることで、**数字の合計が「21」になるので、ブラックジャックとなります。**

※ただし、**数字のみで 21 を揃えてもブラックジャックにはなりません。**

となりました。

その結果は、次のようになりました。

結果



- Aプレイヤー**・・・2枚カードがペアの時に、その2枚のカードを分割し、独立したハンドとしたが、一方はディーラーより小さい数で **LOSE** また、一方は21でWin、となった。
片方が負けているのでチャラとなった。
※スプリットはあくまでオプションです。両方とも勝つことはむづかしいのでしないほうがいいかもですね。
※ここで $5+7+9=21$ ですがブラックジャックとは言いません。
ブラックジャックはあくまで **A+10 or J or Q or K=21** の場合
- Bプレイヤー**・・・HITするも、 $10+4+2+10=26$ で **BUST**。
- Cプレイヤー**・・・ $J+K=20$ で STAND20 で勝負！ **WIN**。
- Dプレイヤー**・・・ $2+A+K=13$ と考え HITするも3しかこず1足りなかったため **LOSE**。
という結果となりました。

ブラックジャックでのアクションと専門用語の解説

ブラックジャックを楽しむためにはある程度、アクションするときの用語を知っておく必要があります。

以下にブラックジャックを楽しむためには絶対に覚えてほしいアクションと用語を解説しておきますので必ず覚えてください。

| 用語 | 意味 |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ヒット (HIT) | 今の手札に更にカードを1枚追加すること。 |
| スタンド (STAND) | 今持っているカードで勝負に出るアクションです。それ以上カードを引くことはありません。 |
| バースト (BUST) | カードの合計数が「21」を超えてしまうことです。 |
| サレンダー (SURRENDER) | ゲームを降りる事です。サレンダーをした場合には、賭けた金額の半分がプレイヤーへ戻る。 |
| ダブルダウン (DOUBLE DOWN) | 賭け金を倍にして、カードを引くアクションです。 ただし、あと1枚しかカードはひけません。 |
| スプリット (SPRIT) | 最初の2枚のカードがペアの時に、その2枚のカードを分割し、独立したハンドとすることです。ただし同額のチップを賭ける必要がある。 |
| インシュランス(INSURANCE) | ディーラーのアップカード（見せ札）がAの時、最初の賭け金の半分を賭ける事で保険をかける事が出来る。もしディーラーが「ブラックジャック」なら保険金の倍額が支払われる。ただしディーラーが「ブラックジャック」でない場合は保険金は没収される。 |
| プッシュ (PUSH) | ディーラーとプレイヤーのカードが引き分の場合。 賭け金はプレイヤーへ戻る。 |
| アップカード (Up Card) | ディーラーが1枚だけ見せているカードをアップカードといいます。 |
| ホールカード (Hold Card) | ディーラーが裏向きにしているカードのことをいいます。 |

カードカウンティングによるブラックジャック攻略法

カードカウンティングを始める前にまず、ブラックジャックにおける基本的な戦略を考えておきましょう。

少しでもブラックジャックを知っている人には、ブラックジャックは自分のカードの数字の合計を 21 に近づけていくゲームなんだと漠然と思っている人も多いのではないかと思います。

しかしながらここで大事なのは、要はディーラーに配布されたカードの数字の合計よりも、より 21 に近づけるということはもちろんですが、もっと大事なことは、

ディーラーのカードの数字の合計が 21 を超えれば、要はディーラーの BURST (バースト) を期待することの方が実は有利に働くことが多いのです。

基本的にディーラーは、カードが 16 以下の場合には、カード合計が 17 以上になるようにカードを引き続けなければいけません。

逆にもしカードが 17 以上になった場合は、ディーラーはそこからアクションを起こす事は出来ません。

カードカウンティングはそこを狙うのです。

自分の持っているカードが次にバーストしてしまうようなカードである場合、つまり 12 以上の場合には、まずディーラーのアップカードを確認する癖をつけてください。

例えば、**あなたの手札が 12** だった場合、通常で 21 にはまだ遠い手札なので、ヒットを選び手札をあと 1 枚追加するはずで

ブラックジャックでは、12 という数字自体あまり強い数字ではないから。

ただ、そこで気をつけて欲しいのは、あなたがヒットすることによって、

10・J・Q・K を引き当ててしまえば、あなたはバースト（計21を超える）してしまい、その時点で **負け** になってしまいます。

ですので、もしあなたのカードが12以上の場合には、ディーラーのアップカードが6以下の時、あなたはヒットせずにスタンドする事を選択するべきなのです。

ディーラーのアップカードが6以下であれば、もしホールカードが一番大きい手の10だったとしても、ディーラーの手札は16にしかありません。

先程もいったように基本的にディーラーは16以下の場合には、基本的にカードを引くしかありません。

もしディーラーのカードの手札が16の場合には、

6・7・8・9・10・J・Q・K が出ればディーラーはバーストになります。

なので、例えあなたの手札が12というあまり強くない数字だったとしても、無駄にヒットするよりもスタンドで待った方が勝率は上がってくるのです。

逆にあなたの手札が12以上の時に、ディーラーのアップカードが6以上であれば、ホールカードを開けた際に、ディーラーの手札が17以上になる確率がグッと上がるので、

基本的にヒットし、なるべく17以上の手札を持つことを意識してみてください。

そして、今回注目して欲しいのは、ディーラーは16以下の手札の場合には、カードを引き、17以上の手札の場合はカードを引くことが出来ない。

ということです。

カードカウンティングの解説

カードカウンティングとは簡単に言うと、これからどんなカードが自分、そしてディーラーに配られやすいのかを統計的に見極める方法のことです。

トランプカードのグループ分け

カードカウンティングはトランプのカード 13 枚を以下のように

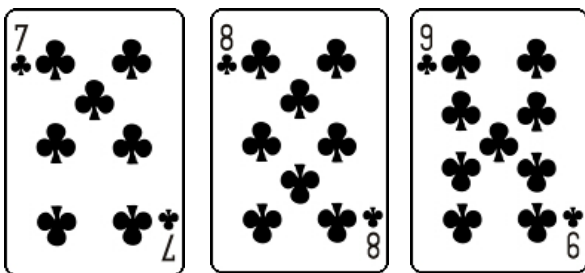
グループ①~③のように名前を付けて 3 つのグループに分類します。

※絵柄マーク ♥ ♣ ♦ ♠ (スート)はグループ分けに関係ない。

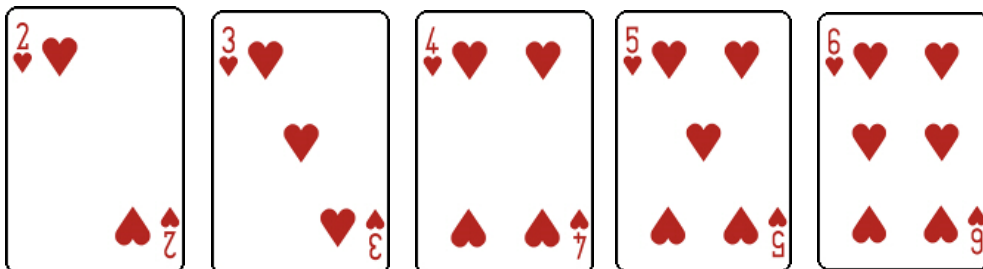
グループ①・・・「**A, 10, J, Q, K**」・・・「**-1点**」



グループ②・・・「**7, 8, 9**」・・・「**0点**」



グループ③・・・「**2, 3, 4, 5, 6**」・・・「**+1点**」



グループ①

ダブルやスプリットに有効なカードで、また、ディーラーのバーストを誘いやすく、プレイヤーにとって有利に働くカードです。

グループ③

逆に、プレイヤーにとって不利なカードだと言われています。そしてそれぞれに得点を振り分けます。

グループ①は「-1点」

グループ②は「0点」

グループ③は「1点」

上記のように得点を振り分けていきます。

まずはここまでを覚えましょう。

次に

ゲームが始まったらディーラーが配るカードを全てのカードを見ながら、それぞれカウントをしていきます。

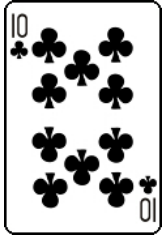
カウントの方法は足し算です。

それでは、次のページから、実際にカウントを行なっていきましょう。

では、カウンティングを行っていきます。

1枚目のカードが「10」。

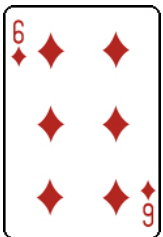
これはグループ①なので「**-1**」をカウントします。



(**-1**)

次に出たカードの目「6」。

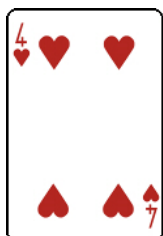
6はグループ③なので、最初の「**-1**」と「**1**」を足し算して「**0**」



(**-1 + 1 = 0**)

その次に出た数字の目「4」。

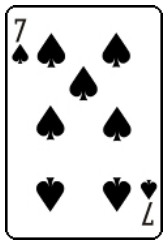
「4」も同じくグループ③なので「**+1**」を足し算して「**+1**」



(**-1 + 1 + 1 = 1**)

その次に**出た数字の目「7」**。

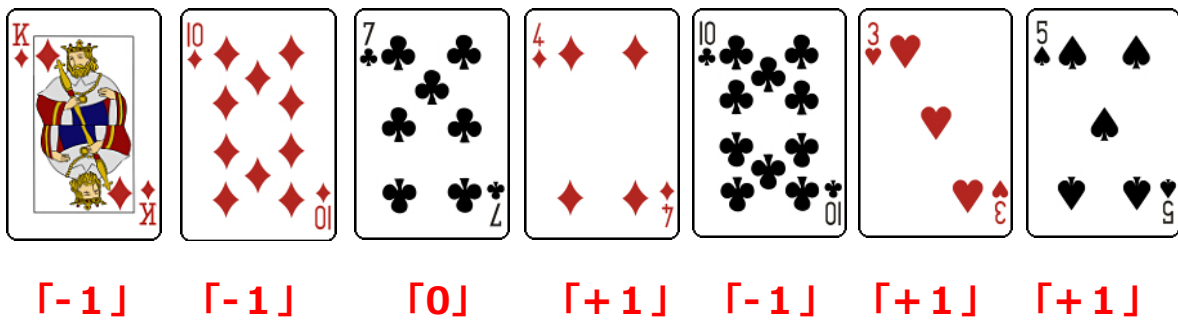
「7」は**グループ②**なので、**0**です。



$$(-1 + 1 + 1 + 0 = 1)$$

このようにカウントしていきます。

Q1. それではこのような場合は、カウントはいくつになるでしょうか。



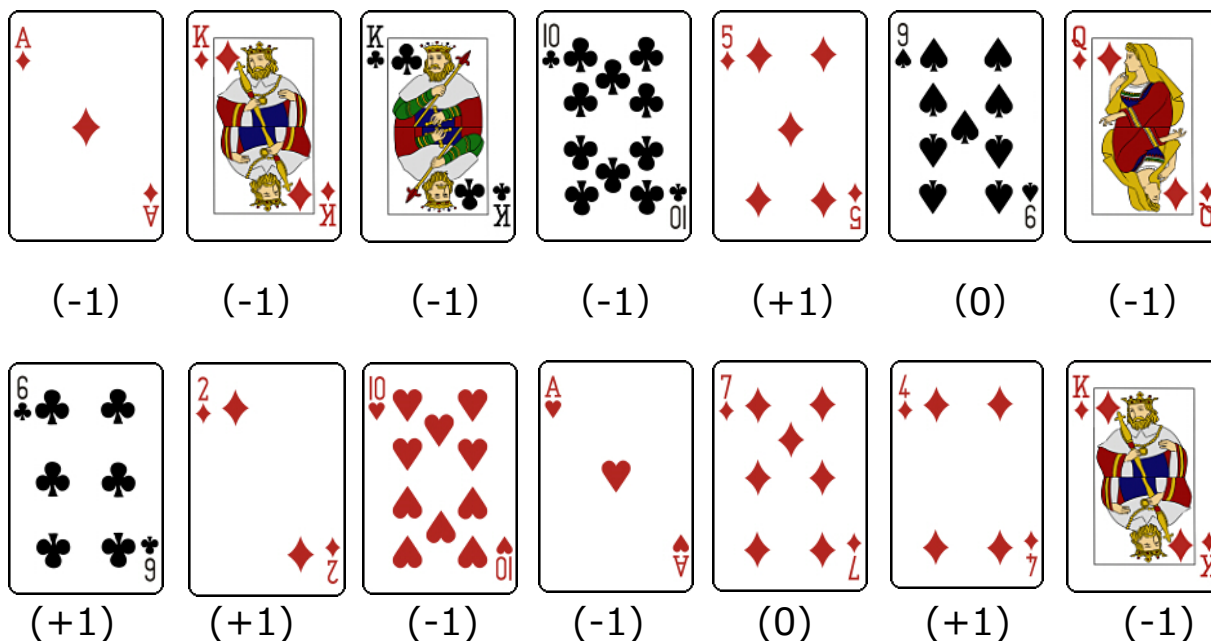
A2. 全てを足し算すると、

$$(-1) + (-1) + (0) + (+1) + (-1) + (+1) + (+1) = 0$$

「**0**」になります。

Q2. 次は枚数が多いですが、いくらになるでしょうか？

前回よりも枚数が多いですがしっかり計算してみてください。



A2. こちらは全てを合計すると「**-4**」になりますよね。

ここまで見てわかることがありますね。

それは、合計が

マイナスに近いと、既にグループ①のカードが沢山出ていることになります。

つまりデッキに残っているカードは、残りのグループ③が多めに残っていることになります。

確認ですが、グループ①は **10** **絵札** **A** です。

ディーラーは**16以下の場合にはカードを引かなければなりません**ので、

デッキに残っている数字がグループ①が多く残っていると、ディーラーのバーストを誘いやすく**プレイヤーにとって有利に働くカードがグループ①**なのです。

カードカウンティングの結論

1. カウンティングの合計がプラスということは、今現在

グループ①が場にあまり出てない = デッキにグループ①が残っている

これから出てくる状況ということになります。

つまり、**プレイヤーにとって勝ちやすい**ということです。

2. 逆に**グループ③**がデッキに多く残っている場合、

ディーラーのバーストを誘いにくい状況のためプレイヤーにとっては不利だと言えるのです。

<結論>

勝ちやすいカウントの目安としては、「+15点」もしくはそれ以上のカウントになった時が一番勝ちやすいタイミングだと言えます。

※また、カウントは残りデッキの量でも変わってきます。

デッキ残りが少ない場合にはカウントが「+5点」や「+6点」の状態でも、十分に勝てる数字だと考えて良いでしょう。

それまでは少額でゲームに参加するか、ベットするのを見送っていて良いでしょう。

実際のカジノで行う場合の注意点

ただ、実際のカジノでカウンティングを行う場合には、明らかにカウンティングをしているとバレてしまうと**カジノ側から目をつけられる場合があります。**

カウンティング自体は違法行為でもなんでもないのですが、多くのカジノで禁止となっており、実際には利用する事が出来ません。言い換えれば、それだけ有力な攻略法だということです。

ですので、実際にカジノで実践する際には、バランス良い金額を賭ける事をオススメ致します。

はじめからずっと少額でかけ続け、勝てる時だけ大金を賭ける。というようなバレやすい賭け方は避けた方が良いでしょう。

カウンティングに慣れるためには、とにかく練習をするしかありません。

トランプを自分でめくりながらどんどんカウンティングをしていきます。それを続けることでゲーム中でもカウントを間違える事はなくなります。

実際にカウンティングを使って稼いでいきましょう！

しかしながら、日本では現在カジノ法案は通過しましたが、今のところまだ実際に遊べるランドカジノは存在しません。したがって、カジノでカウンティングを試すためには、近いところでも韓国、マカオのカジノへ行く必要があります。

海外まで行ってカジノをするには旅費、ホテル代、そして何よりも言語の壁などハードルがいろいろと高すぎますね。

また、先ほど書きましたように「カウンティング」は多くのカジノで禁止されていたりもします。

ではどうするのか？

賢明な読者はもうお分かりだと思いますが、、、実は日本でも簡単にカジノで遊ぶ方法があります。

それがオンラインカジノです。

オンラインカジノはインターネットを使って、カジノゲームを楽しめるサービスです。

また、日本では賭博法などで実際にお金を賭ける事が出来ないゲームでも、オンラインカジノであれば、合法的にお金を賭けて楽しむ事ができます。

最近では日本でもブームとなっており、多くのオンラインカジノは日本語に対応していますので安心して遊ぶ事ができます。

オンラインカジノを利用するにあたってはあくまで自分自身の判断と責任において行っていただけるようお願いいたします。

オンラインカジノでカウンティングは可能なのか？

オンラインカジノの場合は、実際のカジノと違い、**基本的には毎回デッキのシャッフルなどが行われますので、カウンティングをすることは不可能だ**とされています。

ほとんどのオンラインカジノでは、デッキからカードが配られる度に基本的にはデッキはシャッフルされている。と、言われています。

つまり、**カウンティングをしたとしてもデッキにどのカードが残っているのか実際には分からない**。ということですね。

カウンティング自体、デッキにディーラーに有利なカードが残っているのか、プレイヤーに有利なカードが残っているのか。を見極める方法ですので、

これではカウンティングの意味がありません。

しかしながら、そんなオンラインカジノでもカウンティングを実践する方法があります。

それが、ライブカジノです。

ライブカジノというのは、画面の向こう側に実際にディーラーがいて、そのディーラーとインターネットを通じて、ブラックジャックを行います。

ライブカジノであればデッキも実際のカジノと同様なのでカウンティングを行う事が出来ます。

また、ライブカジノの場合には実際のカジノとは違って、もっと簡単にカウンティングを行うことができます。

ライブカジノのほうがカウンティングがやりやすいのはなぜ？

そもそもライブカジノは画面越しなので、身なりや仕草に気を使う必要がありませんし、頭で数えなくても、**実際にノートを用意してカードをカウンティングしても、バレる事はありません。**

カウンティングのツールなども、今は公開されていますが、それを使ったとしても、まったく問題にはならないのです。

まさにカウンティングをするのもってこいの環境がオンラインカジノにはあるのです。

ただ、通常のブラックジャックであれば6デッキでゲームが行われるのが一般的ですが、オンラインカジノの場合には、8デッキで行われる場合もあるので、そこは注意が必要です。

いかがでしたでしょうか。

オンラインカジノは実際に触ってみて賭けてみる事が一番理解しやすいと思いますのでまずは、実際に触ってみてくださいね。

最後に、現在完全日本語対応のオンラインカジノで実績のあるサイトを下記にご紹介しておきます。

<ライブカジノハウス (LIVECASINOHOUSE) >



<EMPIRE777 (エンパイア 777 カジノ) >

